

## 受け取ったバトンを しっかりとつなぎます

—小布施での生活はいかがですか？

新生病院で働きはじめて、もうすぐ2年になります。前の職場は東京の郊外、高尾山の近くにある病院でした。そこも自然が豊かで、イノシシに出くわしたり、マムシが出たりと（笑）、なかなかワイルドな毎日でした。

初めて訪れた小布施では、遠くに山並みが広がり、リンゴやブドウの木が季節ごとに表情を変える風景に感動しました。同じ「自然」でも、どこか穏やかで、心がほっとする場所だなと感じています。

—新生病院は、これまでの病院とちがいますか？

これまで私は急性期の病院で、総合診療やリウマ

チ・膠原（こうげん）病の患者さんを多く診てきました。急性期の病院では、病気を早く見つけて治療し、元気になったらできるだけ早く退院していただくことが最優先。スピード感のある医療が求められていました。

それに対して新生病院は、急性期のような高度な治療は行いませんが、患者さんが「自分らしい生活」に戻っていけるよう、少し時間をかけて丁寧に関わることが出来ます。スタッフみんなが「おらち」、ここが自分の居場所だと思ってもらえるような温かい病院を目指して、日々取り組んでいます。

—院長に就任されて、今どんなお気持ちですか？

自分の「やりたいこと」「やれること」「やるべきこと」が一致する仕事ができたら理想ですね。今回、私は「やるべきこと」として院長という役目をいただきました。それが本当に「やれること」なのか、そして「やりたいこと」になるのか——正直なところ、まだ手探りです。

ただ、人手も物資も限られるなかで、病院は今後ますます変わっていく必要があります。私自身も変わっていくかなくてはいけないし、変えていく役割を担っていると思っています。

これまで先輩たちがつないできた大切なバトンを、しっかり受け取って、次の世代に渡していけるように、職員の皆さんと力を合わせながら、地域の皆さんにとって「安心できる病院」であり続けられるよう、取り組んでいきたいと思ひます。

### 青木 昭子先生 プロフィール

1984年、横浜市立大学医学部を卒業。リウマチ・膠原病領域の大学院を修了後、神奈川県内の病院で内科医として勤務。2004年～2011年、同大学附属病院で臨床研修の運営と医学教育に専念。2011年2月、東京医科大学八王子医療センター 総合診療科准教授、2016年6月、同センター リウマチ性疾患治療センター教授を務め、2023年8月から同兼任教授、新生病院副院長。日本リウマチ学会リウマチ専門医/指導医/評議員、日本リウマチ財団リウマチ登録医、日本内科学会 内科認定医/総合内科専門医、日本医学教育学会 認定医学教育専門家等。

新院長あいさつはコチラからご覧いただけます▶



## 小布施の PEOPLE TREE

小布施には、小さな町だからこそ人のつながりの強さがあります。いきいきと暮らす町の方に声をかけてみました。



#1 岩崎 しのぶさん（93歳）

「お客さんに喜んでもらうことが一番うれしい」創業百余年の「岩崎パン屋」。

穏やかな笑顔で迎えてくださったのは、お店の名物「チルシーパンズ」（写真右）を作った4代目・小弥太さんの奥様、しのぶさん。93歳になる今も、店頭で元気にお番番をしています！「チルシーパンズ」の誕生の裏には、当院の元看護婦長であるミス・パウと小弥太さんの交流がありました。店舗ではもちろん、当院売店でも販売していますので、ぜひ召し上がってみてください！

小布施 岩崎  
〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施620-1  
TEL | 026-247-2200 FAX | 026-247-6404  
OPEN | 10:00～18:00 定休 | 毎週水曜



## オススメの一冊

『WITCH WATCH（ウィッチウォッチ）』  
篠原健太／集英社

累計発行部数300万部突破！  
笑って癒される「魔女×鬼」の共同生活コメディです

修行中の魔女・ニコと、幼なじみで鬼の家系の少年・モリヒトが“使い魔”として一緒に暮らす日常を、カワイク楽しく描いた作品です。昭和感たどようギャグのセンスも魅力！作者の篠原健太さん（51歳・大ベテラン漫画家）の世界観に浸って、日々の疲れやモヤモヤを吹き飛ばしましょう！



青木先生【内科医】

## NEW LIFE LETTER NO.107 / 2025 SPRING



「NEW LIFE LETTER」は、地域の皆さんの健康と暮らしを想う新生病院がお届けする便りです。これまでの「新生だより」を引き継ぎ、より地域に開いた情報発信に努めてまいります。ご意見・ご感想を右記QRコードのフォームから、お気軽にお寄せください。



## TOPIC

新任チャプレンからのごあいさつ

※「チャプレン」とは、教会外の施設で働くキリスト教の牧師を指します

声と向き合う

この度、新生病院のチャプレンに就任いたしました、江夏一彰（えなつ・かずあき）と申します。患者さんやご家族の不安に寄り添い、心の支えとなれるよう努めます。また、日々の業務に尽力される職員の心のケアも大切にしたいと考えております。どうぞお気軽にお声がけください。一日も早く皆様と信頼関係を築けるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



## 新生ヒストリー #1

地域とともに歩む 新生礼拝堂の91年



新生礼拝堂は1934年に病院の隣に建てられて以来、信者に限らず多くの地域の方々が集う心の拠り所となってきました。2004年には小布施の町宝に指定され、91年経つ現在も礼拝が続いています。礼拝はもちろん、建物も解放されていますので、ステンドグラスや趣ある内観など、是非ご覧ください。

発行日 | 2025年5月18日

発行 | 特定医療法人 新生病院

編集・デザイン・撮影 | tamai design studio

-

〒381-0295 長野県上高井郡小布施町851

TEL | 026-247-2033 FAX | 026-247-4727

E-mail | info@newlife.or.jp

URL | https://www.newlife.or.jp

# NEW LIFE LETTER No. 107

2025 SPRING | NEW LIFE HOSPITAL NEWSLETTER



風薫る初夏。新しい生命の息吹を感じる季節。

○新しい医師のご紹介  
○これから新生病院が向かうところ  
○新院長 青木先生のご紹介

新生病院

## 「日本でいちばん病院らしくない病院」をめざして



新生病院はこの春、「Vision（ありがたい姿）」と「Values（大切にする価値観）」を刷新しました。  
新しい言葉に込めた想いと新生病院がめざす方向性についてお話しします。

<p><b>荒木 庸輔</b> <i>yosuke araki</i> 法人事務局長   株式会社メディヴァにて在宅医療および中小病院のコンサルティングに従事。2016年から新生病院を担当。2021年に転籍し現職。</p>	<p><b>青木 昭子</b> <i>akiko aoki</i> 病院長   横浜市立大学附属病院等での勤務を経て、東京医科大学八王子医療センター リウマチ性疾患治療センター教授を務め、2023年から同兼任教授、新生病院副院長として勤務。この春から現職。</p>	<p><b>北村 千恵</b> <i>chie kitamura</i> 法人看護局長   東京医科大学病院、地域基幹病院、僻地医療、企業立病院等に勤務後、長野県看護大学で講師を務める。訪問看護ステーション希望 所長を経て2023年から現職。</p>
---	--	---

### 一人ひとりが考え、行動する。 次の100年に向けた言葉

**荒木** 新年度のスタートにあわせて、これまでの「基本理念 | 基本方針 | 診療の基本方針」を「基本理念 | Vision | Values」へ刷新しました。背景にあったのは、理念を単なる掲示物で終わらせるのではなく、日々の実践に息づく言葉として再定義したいという思いからでした。

**北村** 理念やビジョンは、現場での会話や実践のなかで使われて“生きて”こそ、組織に根づいた、行動に現れてくるものだと思います。

**荒木** そうですね。もう一つの背景として、医療ニーズや病院の役割そのものが変わっていきなで、病院の常識や組織文化を問いなおす必要性を感じていました。当院のような中小病院の役割は、病気を「治すこと」だけでなく、退

院後の生活やその人らしい暮らしを支えるところまで広がっています。病院はこれまで以上に、コミュニティや生活の場と“ひと続き”の存在である必要があるんです。暮らしに溶け込むような病院こそが「コミュニティホスピタル」であり、私たちが掲げる「日本でいちばん病院らしくない病院」というビジョンの核心です。

**北村** 病院という場所では、つい無意識に「患者」と「医療者」という立場で分けて物事を見がちです。でも本質的には、どちらもひとりの人間で、人生を歩んでいる存在です。それぞれが尊重され、支え合える関係であることが、これからの医療にとって何より大切だと思っています。人として対等な関係のなかで最適なケアを届けていく——それが私たちが目指す病院のかたちです。



その患者さんにとって「最適な医療」を、誠実に届けていきたい

**青木** 私たちが担っているのは、病気の診断・治療にとどまらず、地域の方々の生活そのものを支える役割です。私たちができることはその患者さんにとって最適な医療やケアを、誠実に提供していくこと。年齢や疾患に関係なく、その人にとっての最善を考え、誠実に医療を届けていきたいと考えています。

**北村** 病院で働いていると、日々の業務に追われる中で、患者さんが抱えている不安や違和感が気になって後回しにしたり、見逃してしまうことがあります。でも、そうした不安や違和感に立ち留まり、向き合って、最善を考え行動することが、患者さんの生活の質の向上につながると同時に、自分たちの仕事への自信ややりがいにつながっていくと思います。そしてそれは、職員一人ひとりの力を引き出し、組織全体の強さにもなっていく。実際に、この数年で少しずつ風土が変わり、疑問を口にすることや、意見を交わす文化が育ってきていると感じています。

**青木** 医療は医師だけでは成り立ちません。看護師もリハビリ職も事務職も、あらゆる職種が、それぞれの専門性をもって関わり支え合う関係があつてこそ、よりよい医療が提供できます。誰かの指示に従って動くのではなく、自らの役割や専門性と患者さんの“想い”を軸に、自律的に行動できる人が伸び伸びと力を発揮できる環境を整えていきたいです。

**北村** 新しいビジョンが浸透していくプロセスは、単なる「周知」ではなく、職員一人ひとりが「自分ごと」として関わる過程です。何が正解かを一方的に示すのではなく、職員が日常的にビジョン・バリューにある言葉を使い「問い続けること」「対話を重ねること」を通して、一緒に「日本でいちばん病院らしくない病院」をつくっていけたらと思っています。

**青木** これまで新生病院が歩んでこられたのは、ひとえに地域の皆さんに支えていただいていたおかげです。これからもその感謝の気持ちを忘れず、患者さん一人ひとりの人生に寄り添いながら、地域とともに歩み、よりよい医療を提供し続けていきたいと思っています。

### 基本理念

わたしたちはキリストの愛と精神にもとづき医療を通してすべての人々に仕えます。

キリストの教えと行いに学び、「全人医療」を実践します。すべての人々に、人や人種による差別なく、小布施という「地域」の中から「世界中」の人々に。キリストの精神である「仕える」ことによって「新たな生」がはじまります。

### VISION ありがたい姿

日本でいちばん病院らしくない病院  
～ わたしのままでいられる場所 ～

新生病院に“患者さん”はいません。新生病院には“職員”もいません。そこにいるのは、かけがえないひとつの人生を歩む、ひとりの人。そのままのわたしが尊ばれる医療であり、職場であること。わたしたちはこれまでの病院の「当たり前」を問いなおし、人が、その人らしくいられる場所を創造します。

### VALUES 価値観

“なから”シippで最善を尽くそう

プロフェッショナルとして何が正しく、何が最善かを考え続ける。あらゆる人と繋がって、その人にとっての“ちょうどいい”を作り込む。“なから”の精神を胸に、その人の最善のために行動しよう。

“おらち”のような場をつくろう

「病院だから」ととらわれずに、ふだん通りの一日を大切にできる病院。「おかえりなさい」で迎えられるような、あったかくて、こころよい空気に満たされた場所をつくろう。

みんなまるごと幸せになろう

過去から現在、そして未来へ。あらゆる垣根を超えて、すべての人が関わりを通じて、いまを生きる喜びに感謝できる場。いきいきと自分らしく輝けるコミュニティホスピタルをともにつくろう。笑顔をつないで地域まるごと幸せにしよう。

“なから”……「おおむね」を意味する北信州のはなし言葉  
“おらち”……「私の家」を意味する北信州のはなし言葉

## 小布施によろこそ！ この春に入職された先生のご紹介



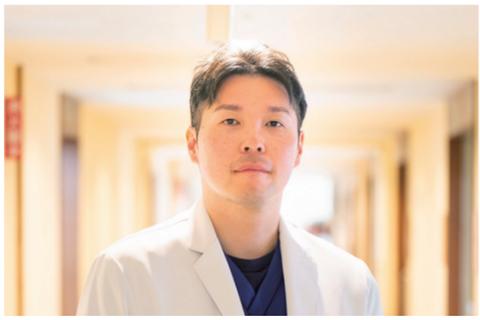
なまえ	ひろしま ゆき
氏名	廣島 由紀 先生
診療科	内科、血液内科
認定資格	日本内科学会認定医、日本血液学会血液専門医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 他
診療で大切にしていること	患者さんの生活背景を知り、入院から在宅まで切れ目ない医療を提供すること
メッセージ	ご本人とご家族の状況を丁寧に把握し、必要な援助が届く医療を考えます。



なまえ	おおさわ ひこた
氏名	大澤 彦太 先生
診療科	内科
認定資格	日本リウマチ学会リウマチ専門医、日本内科学会認定内科医、日本医師会認定産業医
診療で大切にしていること	あなた達に診てもらってよかった、と患者さんに言っていたけように取り組むこと。
メッセージ	個の力は微力ながらも全員で一丸となって、患者さんの抱える困苦の壁を壊したい、そう考えています。



なまえ	ひらおか ひろゆき
氏名	平岡 弘之 先生
診療科	内科、総合診療科
認定資格	日本内科学会認定内科医
診療で大切にしていること	病状・検査結果・治療内容について、ブラックボックスにしないように、わかりやすい言葉で説明すること。
メッセージ	小布施町および長野県の医療に少しでも貢献できるよう頑張ります。御指導のほどお願い申し上げます。



なまえ	みやこし たかひろ
氏名	宮腰 隆弘 先生
診療科	内科、糖尿病内科
認定資格	日本内科学会認定内科医、日本糖尿病学会認定糖尿病専門医・認定糖尿病指導医
診療で大切にしていること	患者さんやご家族とお話する際は、なるべく分かりやすく説明することが大切だと思っています。
メッセージ	糖尿病など生活習慣病の治療をうまく行うためには患者さんの努力も重要です。個々にあったアドバイスを致しますので是非ご質問ください。